



全障研全国大会での実践発表を終えて...

夏は、全国各地で様々な団体の全国大会が行われ、実践や研究成果が発表されています。Angeからは今年も2名、全国障害者問題研究会の全国大会に参加してきました。開催場所は広島、戦後80年の節目の年に平和を考える機会にもなりました。

今回の大会では、「自閉症スペクトラム症、発達障害の人の生活と発達」の分科会で実践発表をしてきました。2年ほど前に、岐阜大学の別府先生をお呼びしての研修会で発表した実践です。今回はその後の様子も交えて伝えてきました。※1 発表の後に、自閉スペクトラム症の彼のこだわりにとことん付き合い、付き合ったからこそK君が私たちの気持ちに気づき、私たちの要求も受け入れられるようになったのだと別府先生が解説されました。『とことん付き合ってくれることが、人の心と出会う力を育てる』と。とても素敵な言葉だなあと感じました。

今、Angeにおいて気をつけていることは、子どもたちの要求に対して「わかったよ」と、まず答えることです。(この言葉は、今年6月に行った池添素氏の研修の中で話されています。※2)全てがすべて、その瞬間に叶えてあげられるとは限りませんが、とりあえず「あなたの気持ちはこうなのね」と、受け止めるようにしています。これは『とことん付き合う』と似ているなあと、思っています。

例を挙げてみます。今、電車や新幹線にハマっているSくんがいます。まず来所すると指導員に「先生、電車作ろう」と誘ってきます。そんな時に挨拶や興味のない活動に誘っても「したくない」と電車作りをしています。普通であれば「今はみんなが〇〇している時だから、しません」と、注意されると思います。しかし、Angeでは「いいよ。わかった。作ろう!」と返事をします。どうしても手が空いていない時は「〇〇終わるまで待ってて〜」と。これを繰り返しているうちに、しっかり待てるようになりました。そして、何ヶ月も作り続けていたある日、作成中に自分から気づいて挨拶に参加してきました。自分で活動に気がついて入ってきたのです。「すごいな〜。挨拶やから参加しない」と、思ったんやね」と声をかけると、嬉しそうにはにかんでいました。その日から、挨拶になると必ず参加するようになったわけではありませんが、自分で気持ちが切り替えられる時は切り替えて、参加するようになりました。自分の気持ちを調整する力がついてきたということです。クールダウンの時も同様に、今までは部屋の隅でレゴやプラレールをしていましたが、先日気がつくとい人でタオルケットをかぶって静かに寝ていました。

とことん好きなことに付き合っ、認めてくれて、理解してくれる大人の間で安心して遊び尽くすと、自ずと自分から動く力や、相手の意に沿う力ができるのだと確信しました。

K君のとことん付き合うも、同じです。「〇〇見たい」にとことん付き合ってきた私たち。今は「今日はもう暑いから帰ろ〜」の言葉を受け入れてくれるようになりました。時間はかかりますが、大人からの一方的な方法で子どもの行動を変えるのではないので、子どもたちは納得して自分から変わっていきます。今年の夏休みはそんな子どもたちが数人いて、毎日が楽しい実践になっています。また来年の全国大会でも、実践を発表できたらと考えています。

(※1は保護者のみ※2はどなたでも、研修動画を視聴できます。視聴希望の方は申し出ください。
 郡 奈美

研修実施予定！申し込み受付中！

11/4(火)〜11/5(水) しあわせですか？あなたは今
 11/4(火)〜11/5(水) 北欧の障害者のくらしに学んで〜

講師：藺部 英夫氏
 (日本障害者協議会(JD)副代表)

申し込みQR



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。

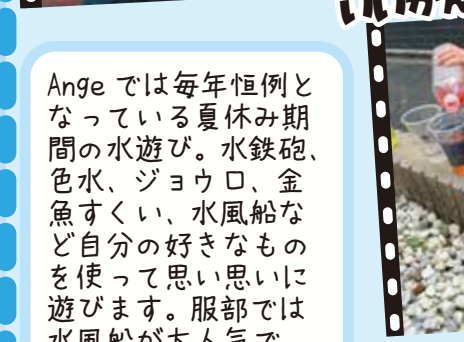
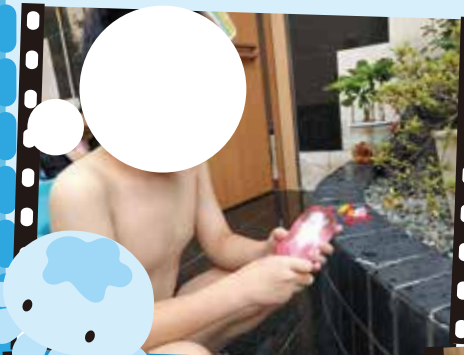
■場所:Ange(服部)又はzoom ■時間:AM10:00〜 ■参加費:Ange保護者500円・外部の方1000円/1名
 ■申し込み・お問合せ:TEL(06)6151-2996 Mail:kori@tokuyo.me 担当:郡



~ Ange ~ 水あそび



「いろいろ水あそび」



Angeでは毎年恒例となっている夏休み期間の水遊び。水鉄砲、色水、ジョウロ、金魚すくい、水風船など自分の好きなものを使って思い思いに遊びます。服部では水風船が大人気で、「ふうせん!ふうせん!」とはやくスタッフに作って欲しくておねだりする子も。初めは水風船が割れるのが怖くて膨らますのを嫌がる子もいましたが、夏休み後半になると気にせず遊んでいました。

両事業所で、プールに入る前に必ず「からだうた」という絵本の読み聞かせを行いました。この絵本のなかで登場する歌を歌いながらからだを拭いていくと全身を拭くことができます。毎日水遊びから上がってこの歌を歌いながら一緒にからだを拭いていると、だんだんとスタッフが歌っているだけで手伝わなくても自分でからだを拭けるようになりました。

一時避難所訓練について

ご協力ありがとうございました。



この度は、夏休み期間中に行いました発災時の一時避難所訓練にご協力いただきありがとうございました。一時避難所を共有することにより、発災時の対応に安心感が生まれたと思います。また新しい試みがありましたら、ご協力をよろしくお願い致します。

